

毎週日曜発行
2023 10/22

こども新聞

週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



11月5日は「津波防災の日」です。1854年のこの日、四国から紀伊半島沖を震源とする安政南海地震が起き、津波が発生しました。和歌山県の高台に住む浜口梧陵という人が津波にいち早く気づき、刈ったばかりの自分の稲の束に火を付け、村人を高台に誘導して命を救ったそうです。宮城県は昨年5月、最大クラスの津波が発生した場合でも「なんととして

きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

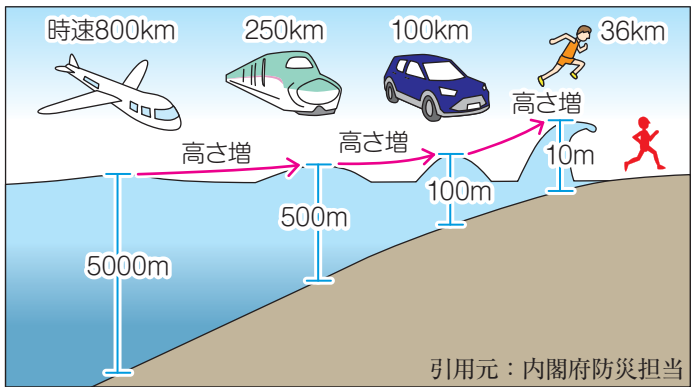
学ぼう防災

⑦

11月5日は
津波防災の日
世界津波の日



津波の速さと高さ



津波の速さは地震の規模によらず、海の深さで決まります。浅い場所ほど遅くなるため、後ろの波が前の波に追いつき、高い津波になります。



仙台市の「津波避難エリアと避難場所マップ」。いざというとき素早く避難できるように、レジャーなどの際も、お出かけ先の情報を確認しておきましょう。

津波避難 早く高く遠くへ

なんととしても人命を守る

も人命を守る」ことを目的に新しい津波浸水想定を公表しました。最大クラスの津波とは、東日本大震災のように、発生頻度は極めて低いが発生すれば甚大な被害をもたらす数百年から千年に1度程度の津波のことです。さらに「なんととしても人命を守る」ために悪条件が重なる想定としました。悪条件とは①地震に

より宮城県全体で地盤が沈下する②津波により堤防が破壊される③満潮のときに津波が発生するの三つです。津波が襲来する範囲や深さ、避難する場所は市町村が発行する津波ハザードマップで確認できますし、宮城県のホームページでは津波をCGにしたアニメーション動画を見ることができます。

津波から命を守るには「早く」「高く」「遠くへ」避難することが何よりも重要です。大きな地震の後や津波警報が発表されたらすぐに逃げることをだけを考え行動しましょう。普段から避難が必要なエリアや避難場所を確認しておくことが大切です。

11月5日は東日本大震災を経験した日本の提案によって「世界津波の日」にも制定されています。皆さんが住む地域や学校で津波避難訓練が行われるときにも「なんととしても人命を守る」行動力を身に付けてください。ね。(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

◇仙台市は11月2日に津波避難訓練を行います。午前9時48分に大津波警報の発表を想定した緊急速報メールが配信されます。津波避難エリアやその周辺にいる方はご注意ください。連絡先は市減災推進課022(214)3109。

今週の注目ニュース

◇27日(金) 読書週間スタート

本に親んでもらおうと図書館や出版社、市民団体などが1947年から取り組んでいます。友達とお気に入りの本を紹介し合い、地域の図書館に足を運んでみるのも楽しいですよ。11月9日(木)まで。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ